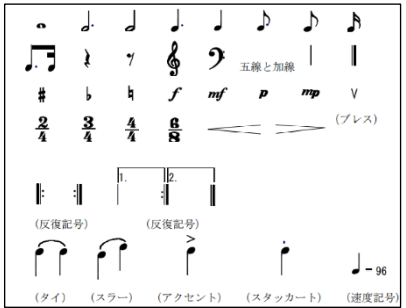


高等部 1年生 音楽 年間計画

【1段階】

指導内容		単元名 (仮)
A 表現	<p>ア 歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(ア) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫すること。</p> <p>(イ) 次の㉗及び㉘について理解すること。 ㉗ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり ※㉗→2年次に学習</p> <p>(ウ) 創意工夫を生かした表現をするために必要な次の㉗から㉘までの技能を身に付けること。 ㉗ 範唱を聴いたり、八長調及びイ短調の楽譜を見たりして歌う技能 ※㉗㉘→2年次に学習</p>	<p>(指導要領音楽 P6～)</p> <p>○生活年齢、発達の段階に応じた、日常の生活に関連した曲を取り扱う。 ○主となる歌唱教材については、各段階とも下記を1曲以上含めて、独唱、斉唱及び合唱で歌う曲 <共通教材></p> <p>・赤とんぼ ・花 ・荒城の月 ・花の街 ・早春賦 ・浜辺の歌 ・夏の思い出</p> <p>○国歌は時期に応じて適切に指導 ・君が代</p> <p>○我が国や郷土の音楽に愛着がもてるよう、共通教材のほか、長い間親しまれてきた唱歌、それぞれの地方に伝承されているわらべうたや民謡など日本のうたを含めて取り上げるようにする</p> <p>○(ウ)㉗ ・八長調とイ短調の比較</p>
	<p>イ 器楽の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する</p> <p>(ア) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫すること。</p> <p>(イ) 次の㉗及び㉘について理解すること。 ㉗ 曲想と音楽の構造との関わり ※㉗→2年次に学習</p> <p>(ウ) 創意工夫を生かした表現をするために必要な次の㉗から㉘までの技能を身に付けること。 ㉗ 範奏を聴いたり、八長調及びイ短調の楽譜を見たりして演奏する技能 ※㉗㉘→2年次に学習</p>	<p>(指導要領音楽 P9～)</p> <p>○(ウ)㉗</p> <p>・範奏を聴いて曲や演奏のよさや美しさを判断したり、音楽を形づくっている要素を注意深く聴きながら、課題意識をもって演奏の仕方を工夫できるようにすること。</p> <p>・八長調の視奏に加え、イ短調の視奏にも慣れ親しむことで、八長調及びイ短調の音階や調の違いを捉えて視奏できるようになること。</p> <p>・音楽を形づくっている要素や要素同士の関わり及び音符、休符、記号や用語の指導も合わせて行い、音楽の流れを感じながら読譜できるようにすること。</p>
	<p>ウ 創作の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(ア) 創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫すること。</p> <p>(イ) 次の㉗及び㉘について、それらが生み出す面白さなど関わらせて理解すること。 ㉗ いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴 ※㉗→2年次に学習</p> <p>(ウ) 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けること。</p>	<p>(指導要領音楽 P11～)</p> <p>○音や音楽に対するイメージを膨らませたり他者のイメージに共感したりして、音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら、表したい創作表現について考え、どのように創作表現するかについて思いや意図をもつこと。</p> <p>○(イ)㉗</p> <p>・音の素材や楽器そのものがもつ固有の音の響き、木、金属、皮など、それぞれの材質がもつ音の響き、音を出す道具によって変わる音の響き等</p> <p>○(ウ) ・例:「○○の音(楽器)を用いて、○○のような旋律をつくろう」</p>
	<p>エ 身体表現の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p>	<p>(指導要領音楽 P13～)</p> <p>○音楽を形づくっている要素の働かせ方</p>

	<p>(ア) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫すること。</p> <p>(イ) 次の㉗及び㉘の関わりについて理解すること。 ㉗ 曲想と音楽の構造との関わり ※㉗→2年次に学習</p> <p>(ウ) 創意工夫を生かした表現をするために必要な次の㉗から㉘までの技能を身に付けること。 ㉗ 曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能 ㉘ 設定した条件に基づいて、様々な動きを組み合わせてまとまりのある表現をする技能 ※㉘→2年次に学習</p>	<p>などを試行錯誤しながら、表現したい身体表現について考え、どのように身体表現するかについて思いや意図をもつこと。</p> <p>○(ウ)㉗ 例：右手で旋律の動き、左手で左足に触れる動きでリズムを表現するなど、創意工夫を生かした表現をする。</p> <p>○(ウ)㉘ 例：㉗で示した動きを、複数で行うことにより、統一感が感じられる動きに表す。</p>																																
B鑑賞	<p>ア 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(ア) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴くこと。</p> <p>(イ) 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解すること。</p>	<p>(指導要領音楽P14～)</p> <p>○曲や演奏のよさなどについて考えをもち、曲全体を聴き深めること。</p> <p>○(ア) 曲や演奏の部分的なよさなどを見出すことに留まることなく、音楽の流れを感じながら聴くこと。</p> <p>○(イ) 例：「ゆっくり→にぎやか」について低音の楽器が単独でテンポもゆっくり演奏されていた音楽から、高音の楽器が複数同時にテンポも速く演奏される音楽になった。</p>																																
共通事項	<p>(1) 1段階と2段階の「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えること。</p> <p>イ 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる音符、休符、記号や用語について、音楽における働きと関わらせて理解すること。</p>	<p>○合奏や合唱などの活動を通して、和音のもつ表情を感じることができるようにすること。</p> <p>○音符、休符、記号や用語の取扱い (小学校指導要領より)</p>  <p>(タイ) (スラー) (アクセント) (スタッカート) (速度記号)</p> <p>(中学校指導要領より)</p> <table border="1" data-bbox="1029 1512 1460 1691"> <tr> <td>拍</td> <td>拍子</td> <td>間</td> <td>序破急</td> <td>フレーズ</td> <td>音階</td> <td>調</td> <td>和音</td> </tr> <tr> <td>動機</td> <td>Andante</td> <td>Moderato</td> <td>Allegro</td> <td>rit.</td> <td>a tempo</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>accel.</td> <td>legato</td> <td><i>mp</i></td> <td><i>ff</i></td> <td>dim.</td> <td>D.C.</td> <td>D.S.</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(フォルマータ)</td> <td>(テヌート)</td> <td>(三連音)</td> <td>(二分休符)</td> <td>(全体符)</td> <td>(十六分休符)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拍	拍子	間	序破急	フレーズ	音階	調	和音	動機	Andante	Moderato	Allegro	rit.	a tempo			accel.	legato	<i>mp</i>	<i>ff</i>	dim.	D.C.	D.S.		(フォルマータ)	(テヌート)	(三連音)	(二分休符)	(全体符)	(十六分休符)		
拍	拍子	間	序破急	フレーズ	音階	調	和音																											
動機	Andante	Moderato	Allegro	rit.	a tempo																													
accel.	legato	<i>mp</i>	<i>ff</i>	dim.	D.C.	D.S.																												
(フォルマータ)	(テヌート)	(三連音)	(二分休符)	(全体符)	(十六分休符)																													

